

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月14日

“喜び”を実現する企業グループ



戸田建設グループ

本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

本日の内容

1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

2. 課題と取り組み

- 代表取締役社長 今井 雅則

1-1. 決算概要

単位：億円	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期			
		期初予想	実績	前期比	予測との差異
連結売上高	2,041	1,870	1,816	▲11.0%	▲53
営業利益	121	90	123	1.4%	33
経常利益	131	100	135	3.4%	35
親会社株式に帰属する 四半期純利益	114	67	102	▲10.5%	35
建設受注高 (個別)	2,046	2,050	1,981	▲3.2%	▲68

◎主な受注工事

	発注者	工事名
建築	三菱地所(株)他	大手町二丁目常盤橋地区再開発
	横浜市	横浜市立市民病院再整備診療棟
	札幌国際観光(株)	函館センチュリーマリーナホテル新築
	長崎県	新長崎警察署建設工事
	(学)三幸学園	三幸学園仙台8号館新築工事
土木	三菱地所(株)	大手町二丁目常盤橋地区再開発 地下接続工事(土木工事)
	東北農政局	岩手山麓農業水利事業 導水路建設
	東日本高速道路(株)	道東自動車道 新得地区土石流対策

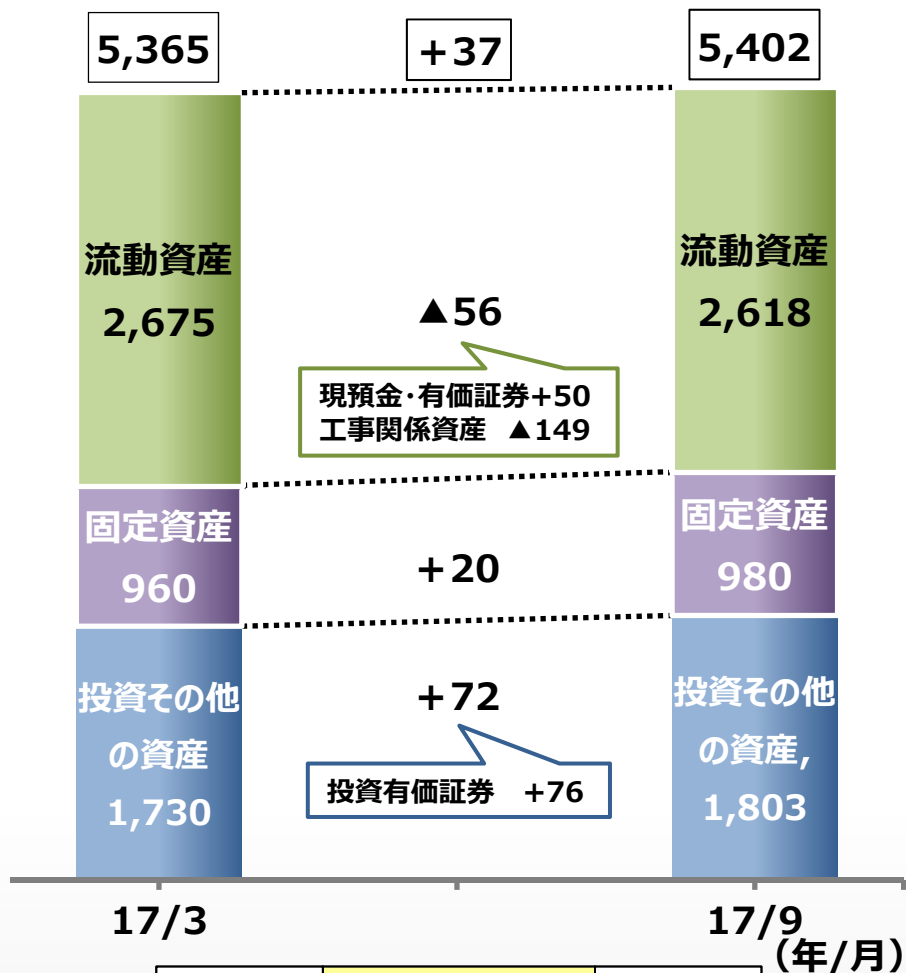
1-2. 決算詳細説明

【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	16社
建設	建築	(株)アペックエンジニアリング 千代田建工(株)	ブラジル戸田建設(株) 戸田建設工程(上海)有限公司 タイ戸田建設(株) 戸田フィリピン(株) ベトナム戸田建設(有) ABTD(株)	8社
	土木	戸田道路(株)		1社
不動産		戸田ビルパートナーズ(株)	アメリカ戸田建設(株)	2社
その他		戸田ファイナンス(株) 戸田スタッフサービス(株) 東和観光開発(株) 五島ローディングウインドパワー(同) オフショアウインドファームコンストラクション(同)		5社

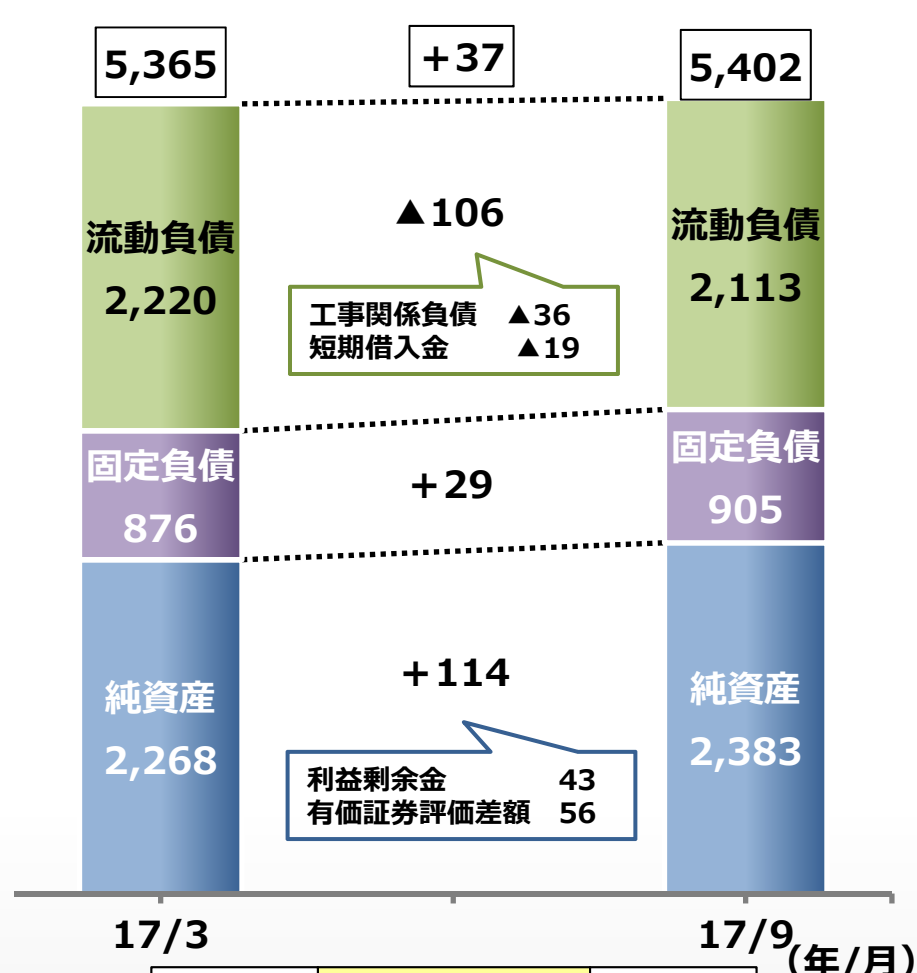
【連結】連結貸借対照表

資産の部 (億円)



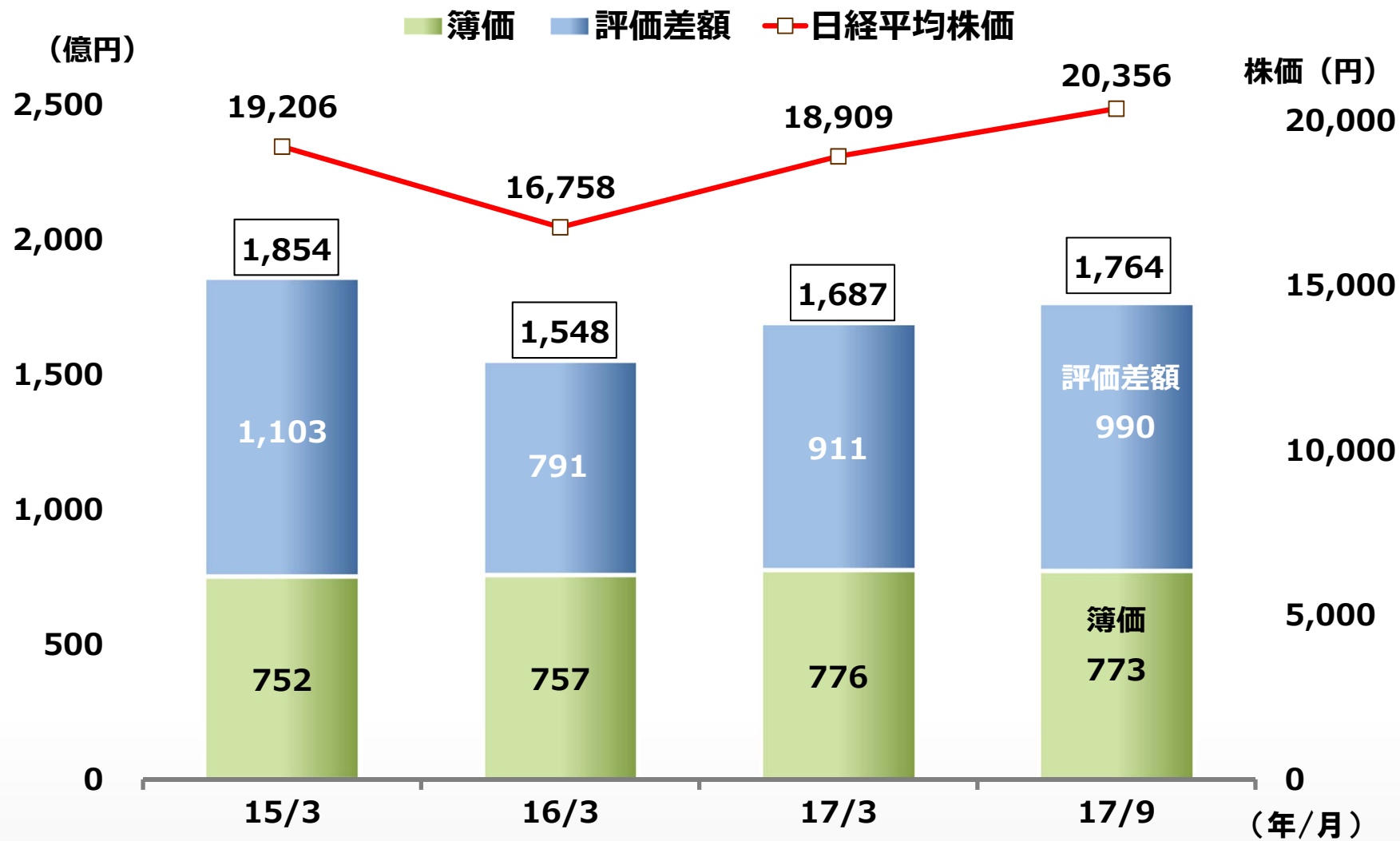
120.5% 流動比率 123.9%

負債・純資産の部 (億円)



41.7% 自己資本比率 43.6%

【連結】投資有価証券の推移

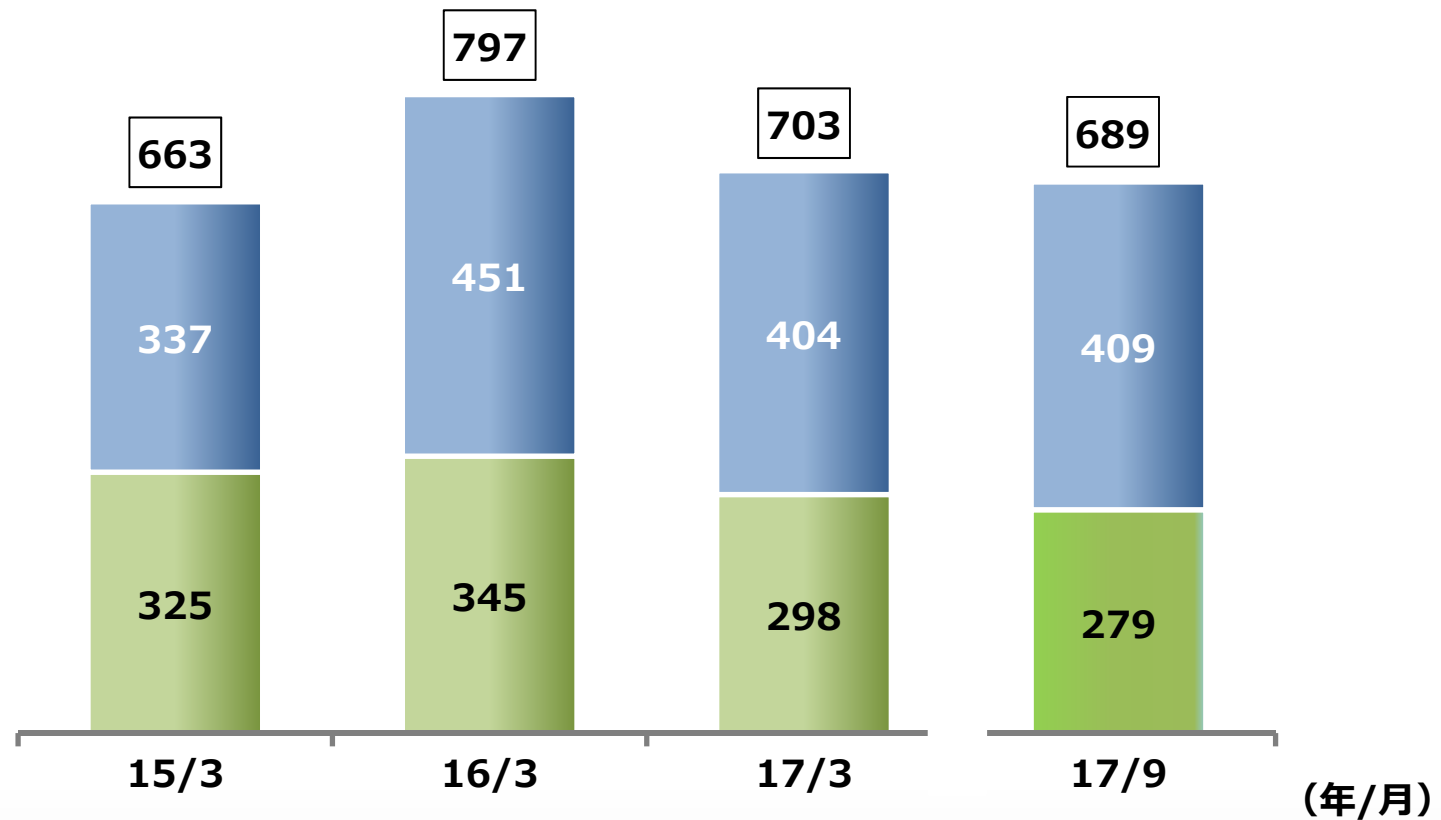


【連結】有利子負債の推移

■ 短期借入

■ 長期借入・社債

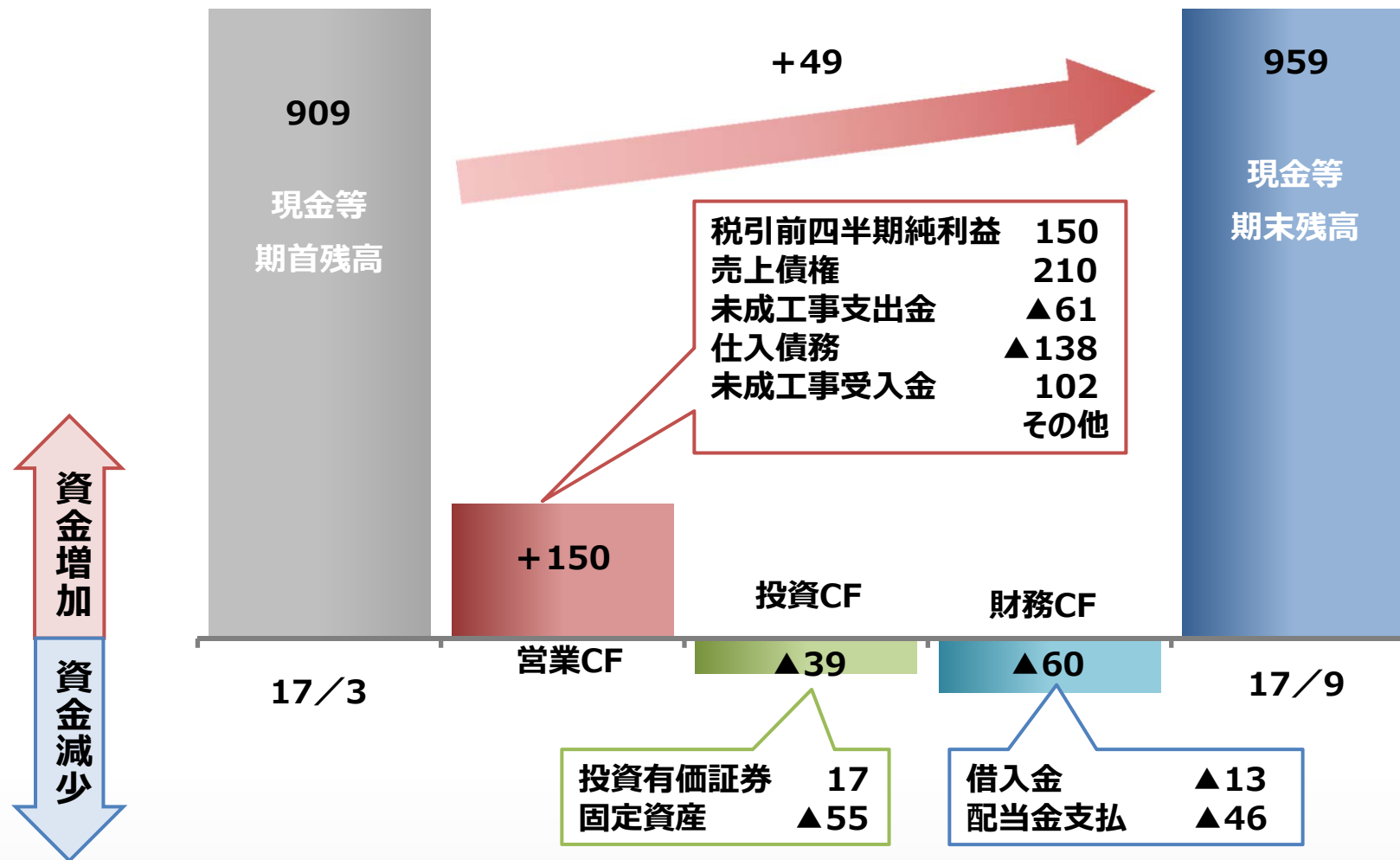
(単位：億円)



D/Eレシオ	0.37倍	0.68倍	0.45倍	0.42倍
---------------	--------------	--------------	--------------	--------------

【連結】キャッシュ・フロー

(単位：億円)



1-3. 業績予測

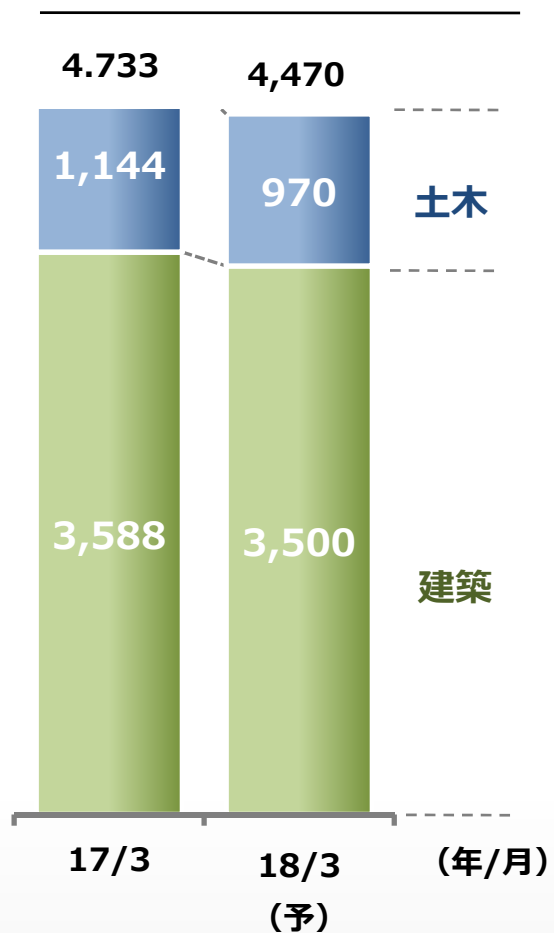
2018年3月期 決算予測

単位：億円	2017/3期 実績	2018/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,227	4,170	▲1.4%	▲57
営業利益	249	207	▲17.2%	▲42
経常利益	271	230	▲15.4%	▲41
親会社株主に帰属する 当期純損益	420	170	▲59.6%	▲250
建設受注高 (個別)	4,733	4,470	▲5.6%	▲263

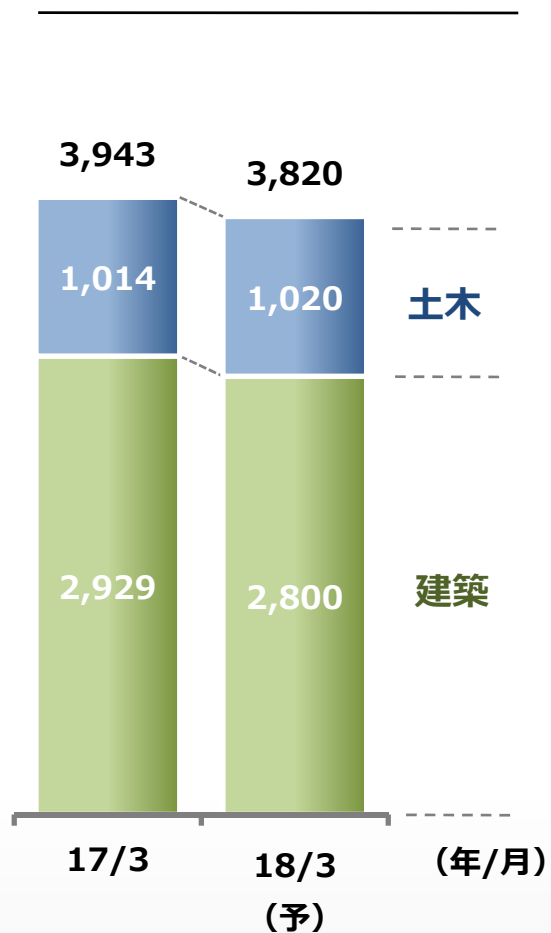
【個別】建設事業の業績予測

(単位：億円、海外を含む)

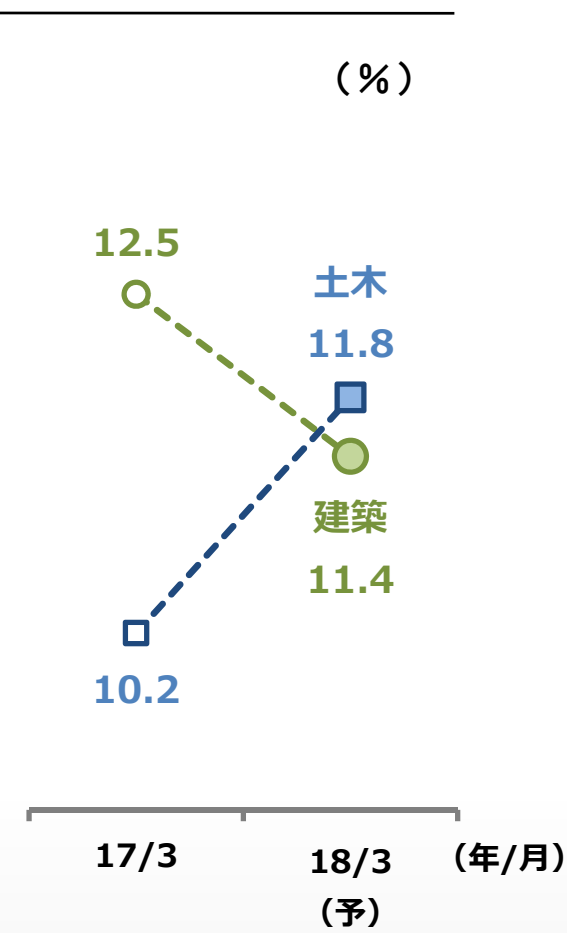
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



2018年3月期 個別業績の予測

	金額 (億円)	利益率 (%)
売上高	3,870	
売上総利益	459	11.9
建設事業 利益	440	11.5
(建築)	(320)	(11.4)
(土木)	(120)	(11.8)
不動産事業等 利益	19	38.0
一般管理費	266	
営業利益	193	5.0
経常利益	214	5.5
特別損益	26	
当期純利益	160	4.1

2. 課題と取り組み

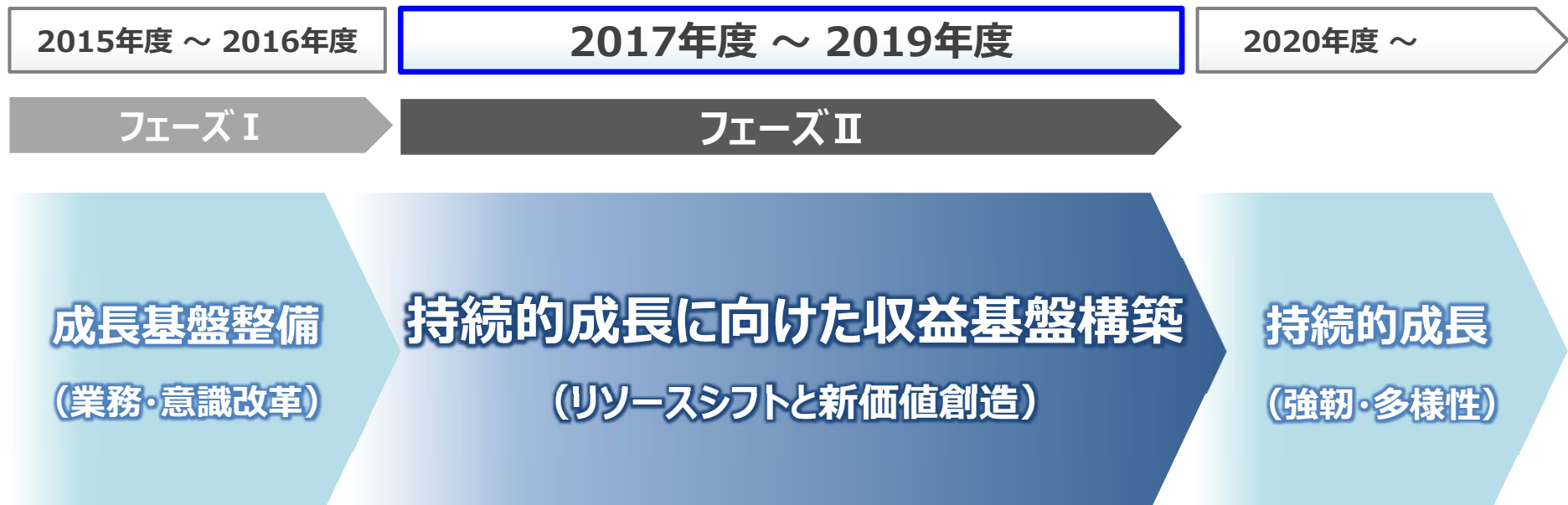
代表取締役社長 今井 雅則

中期経営計画2019の位置付け

戸田建設グループ グローバルビジョン

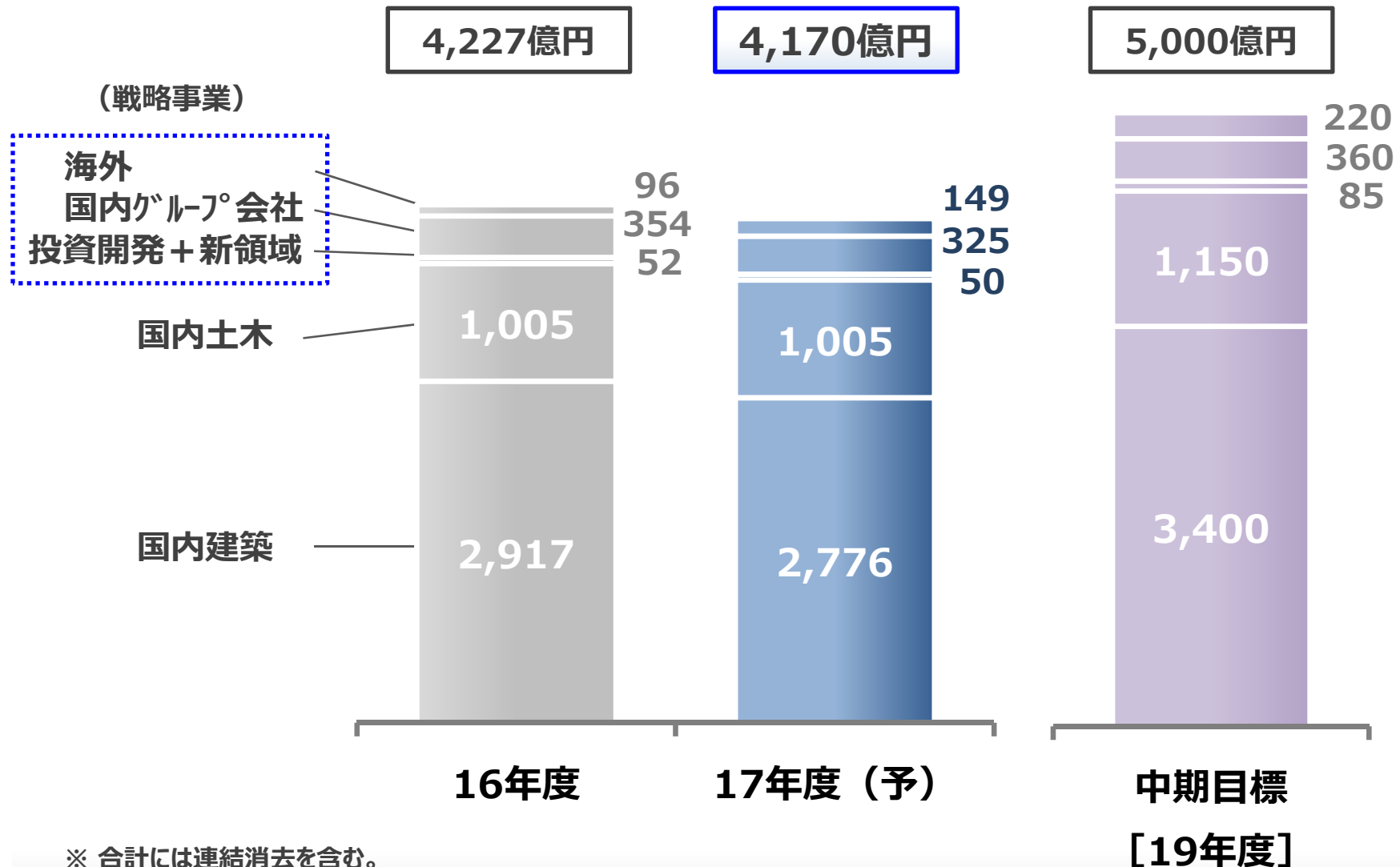
“喜び”を実現する企業グループ

グローバルビジョンの実現に向けて、新たなフェーズへ



2-1. 事業別見通し

事業別売上高

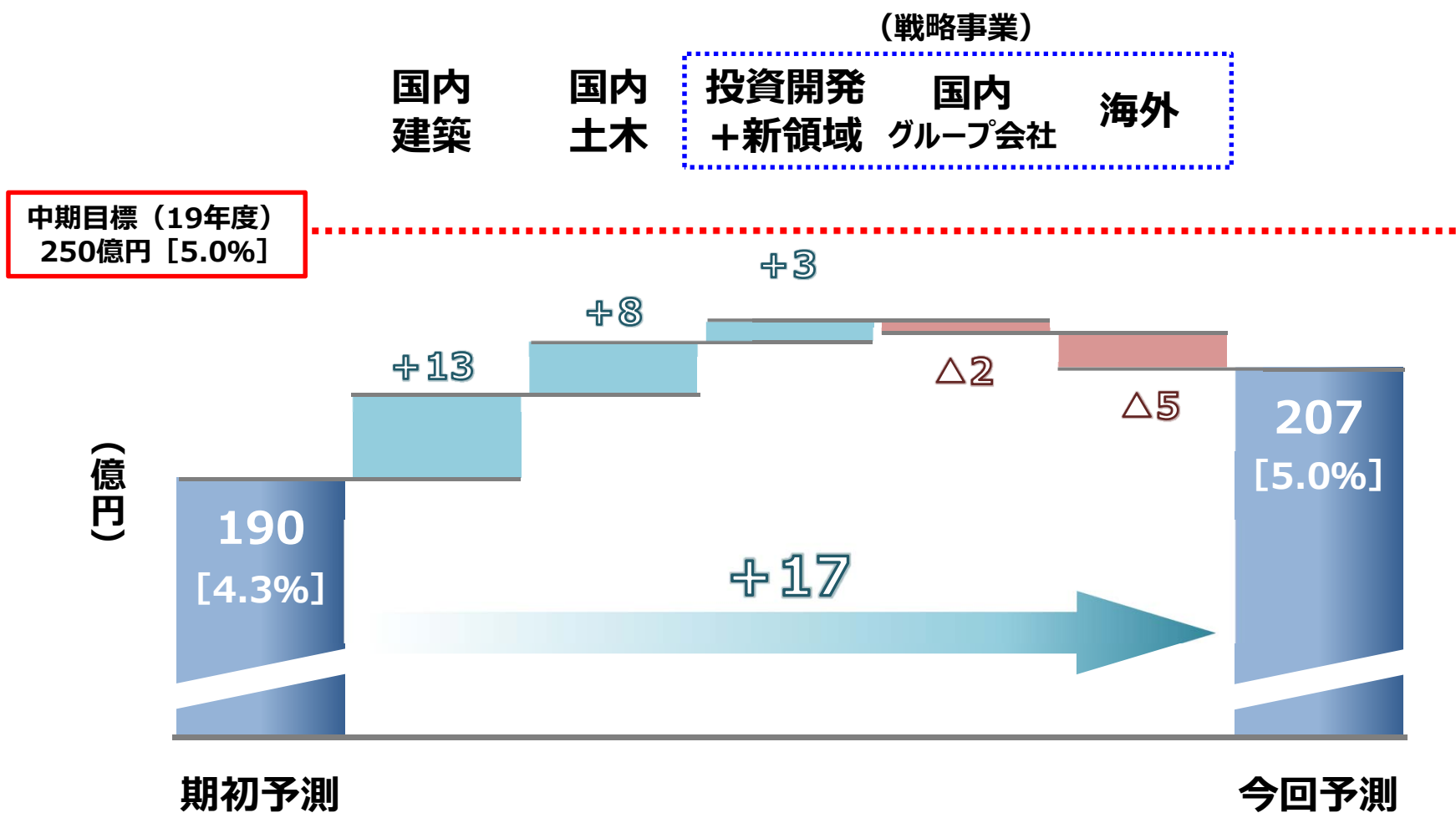


※ 合計には連結消去を含む。

※ 新領域は、エネルギー関連事業及びその他新規事業

営業利益増減（対 期初予測）

国内建設・投資開発等で上方修正を実施



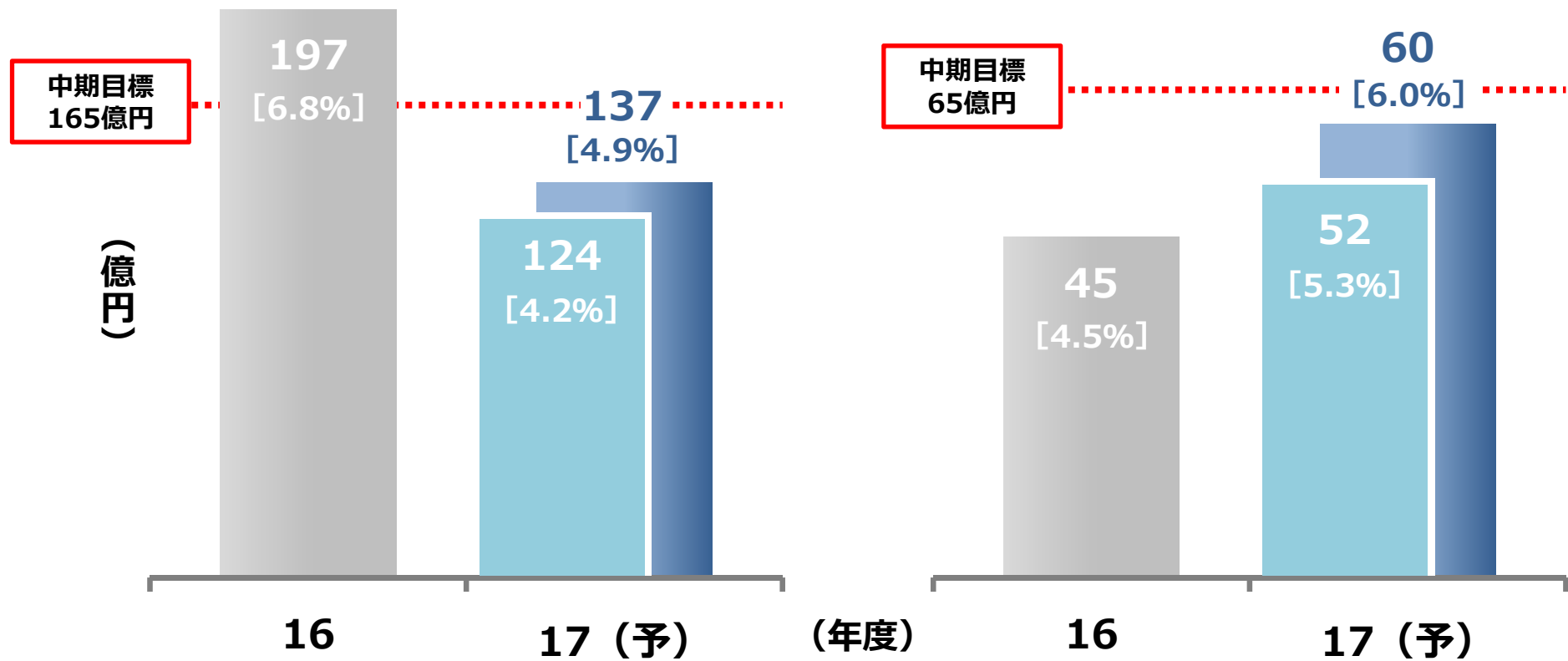
※ [] は営業利益率。

国内建設事業 営業利益

■ 期初予測
■ 今回予測

国内建築

国内土木



※ 数値には連結消去を含んでいない。[] は営業利益率。

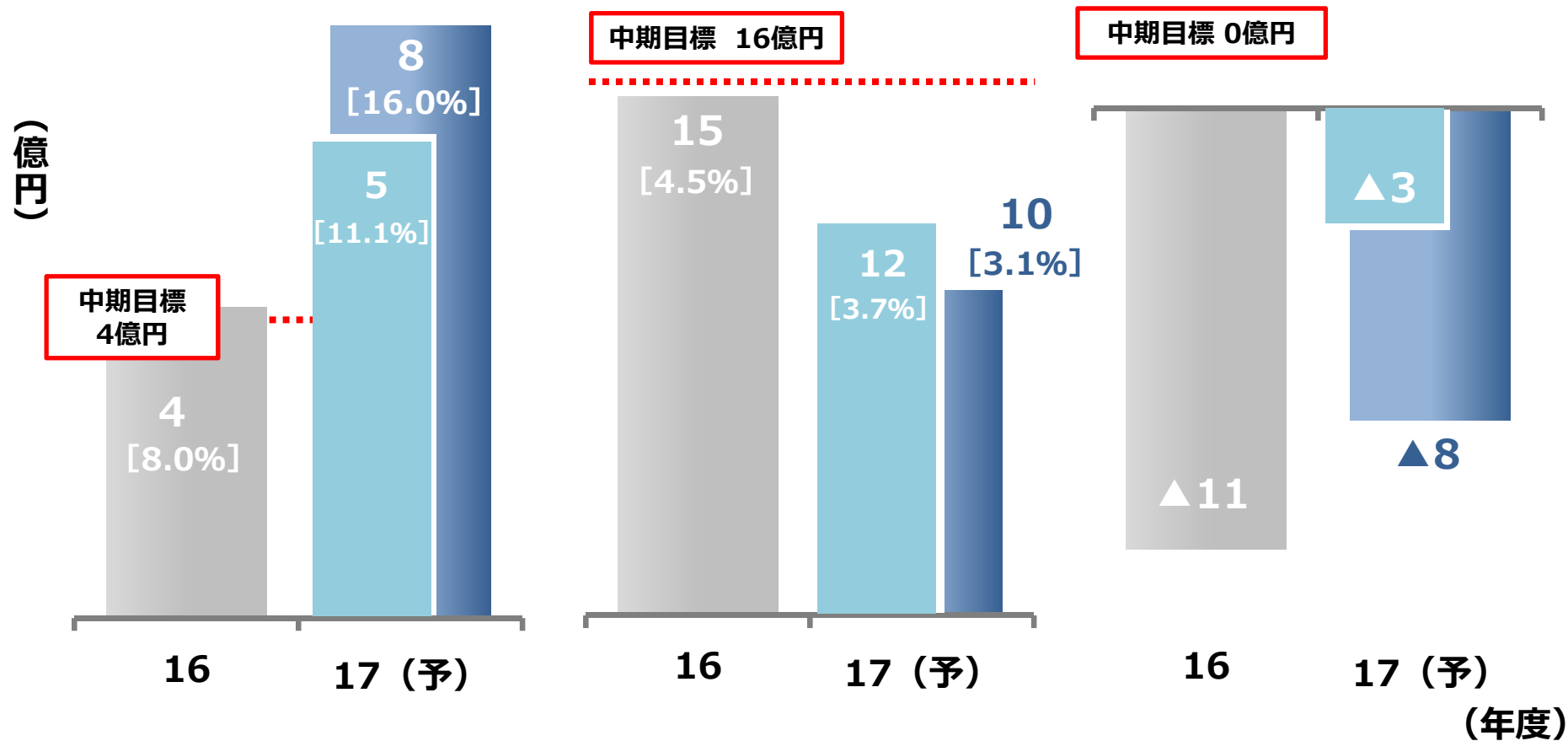
戦略事業 営業利益

■ 期初予測
■ 今回予測

投資開発+新領域

国内グループ会社

海外

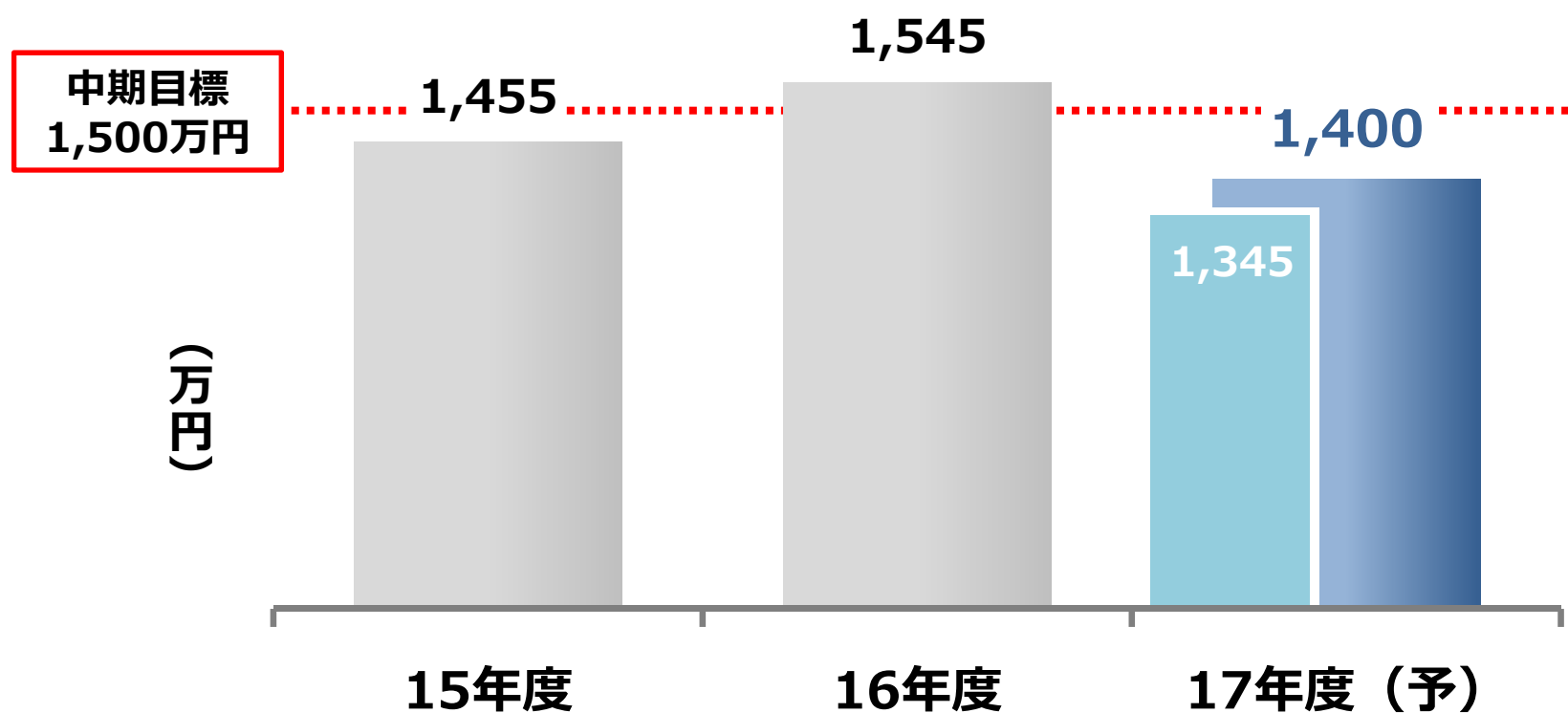


※ 数値には連結消去を含んでいない。[] は営業利益率。

生産性の推移

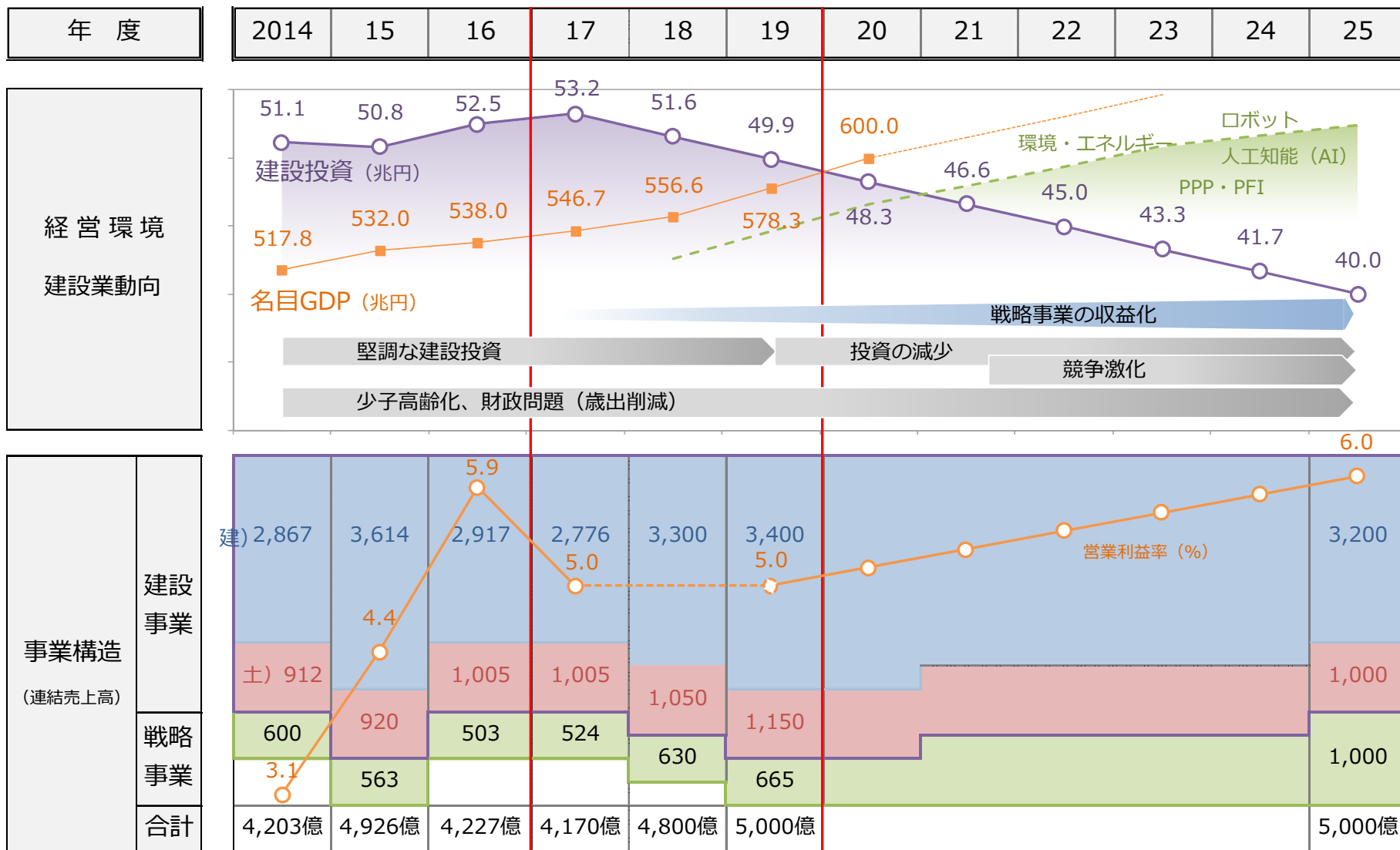
■ 期初予測
■ 今回予測

労働生産性（個別）



※ 労働生産性 = 営業利益/人 (売上高/人 × 営業利益率) + 総額人件費/人

持続的成長の実現に向けて



※売上高合計には連結消去を含む。 ※ 2017年度以降の建設投資及び名目GDPは、(一財)建設経済研究所、(一財)経済調査会の予測を基に当社にて作成。

2-2. 取り組みの方向性

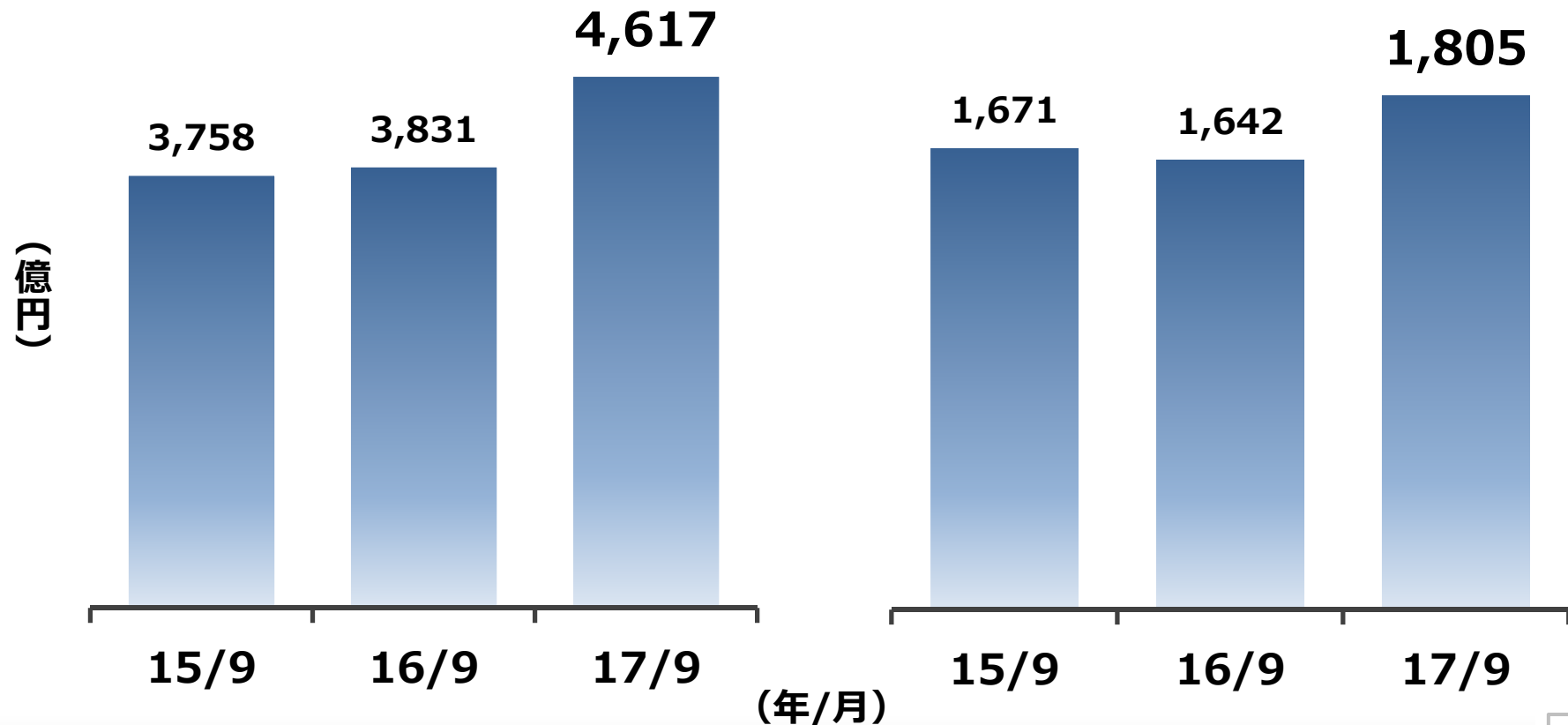


繰越工事高の推移

高水準の手持工事消化のための生産性向上

建築事業

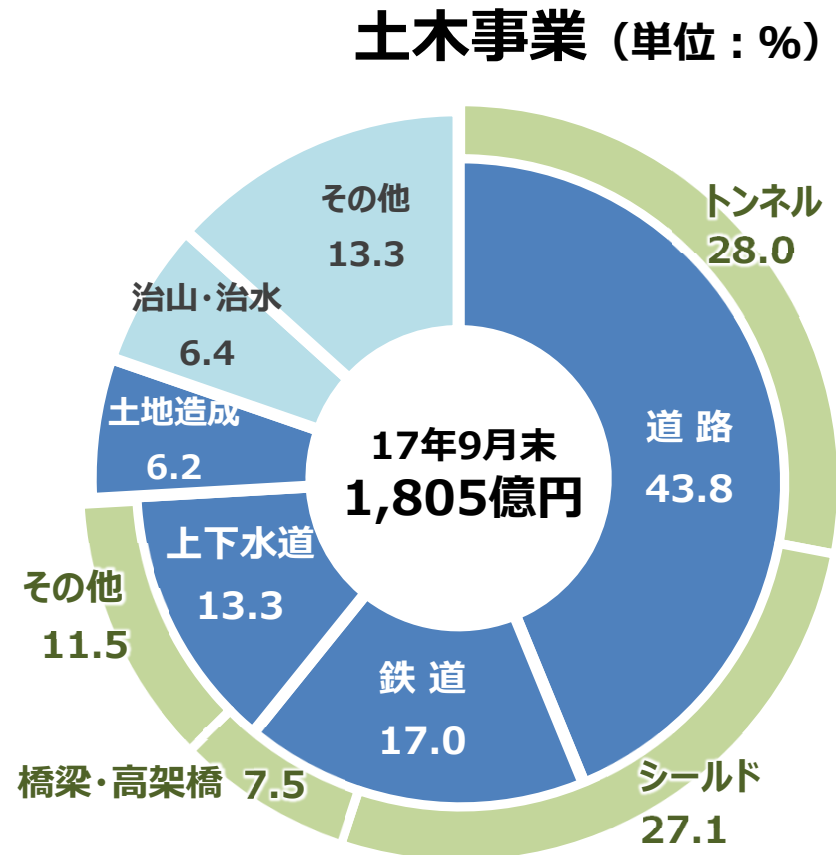
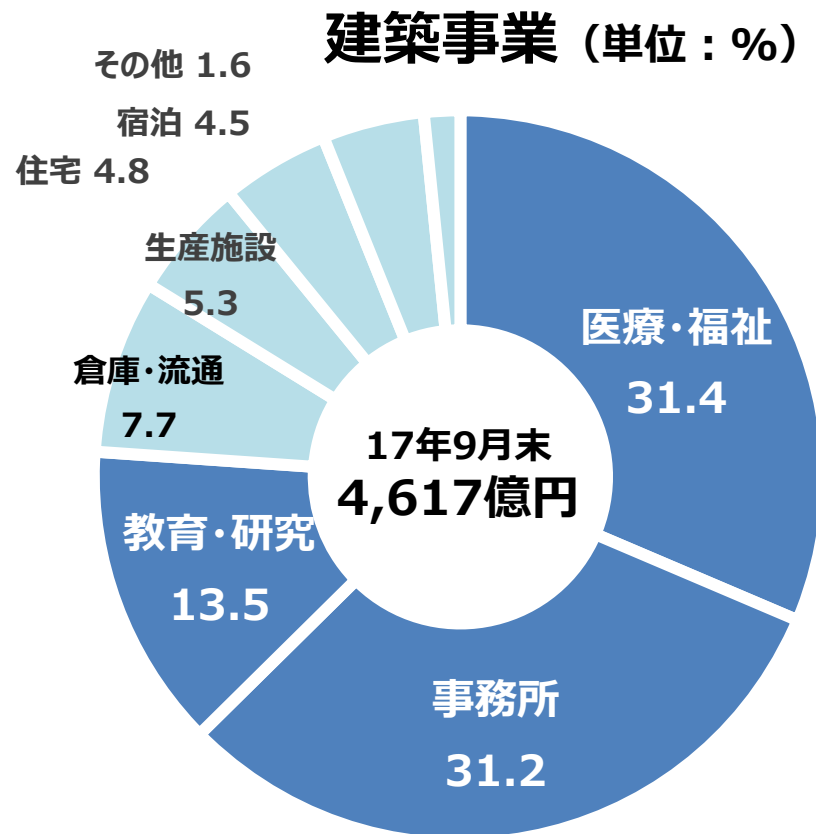
土木事業



※ 数値には海外事業を含んでいる。

繰越工事の内訳・工事種別

重点分野を中心に技術・ノウハウを蓄積



中期計画 主な重点分野

病院・学校

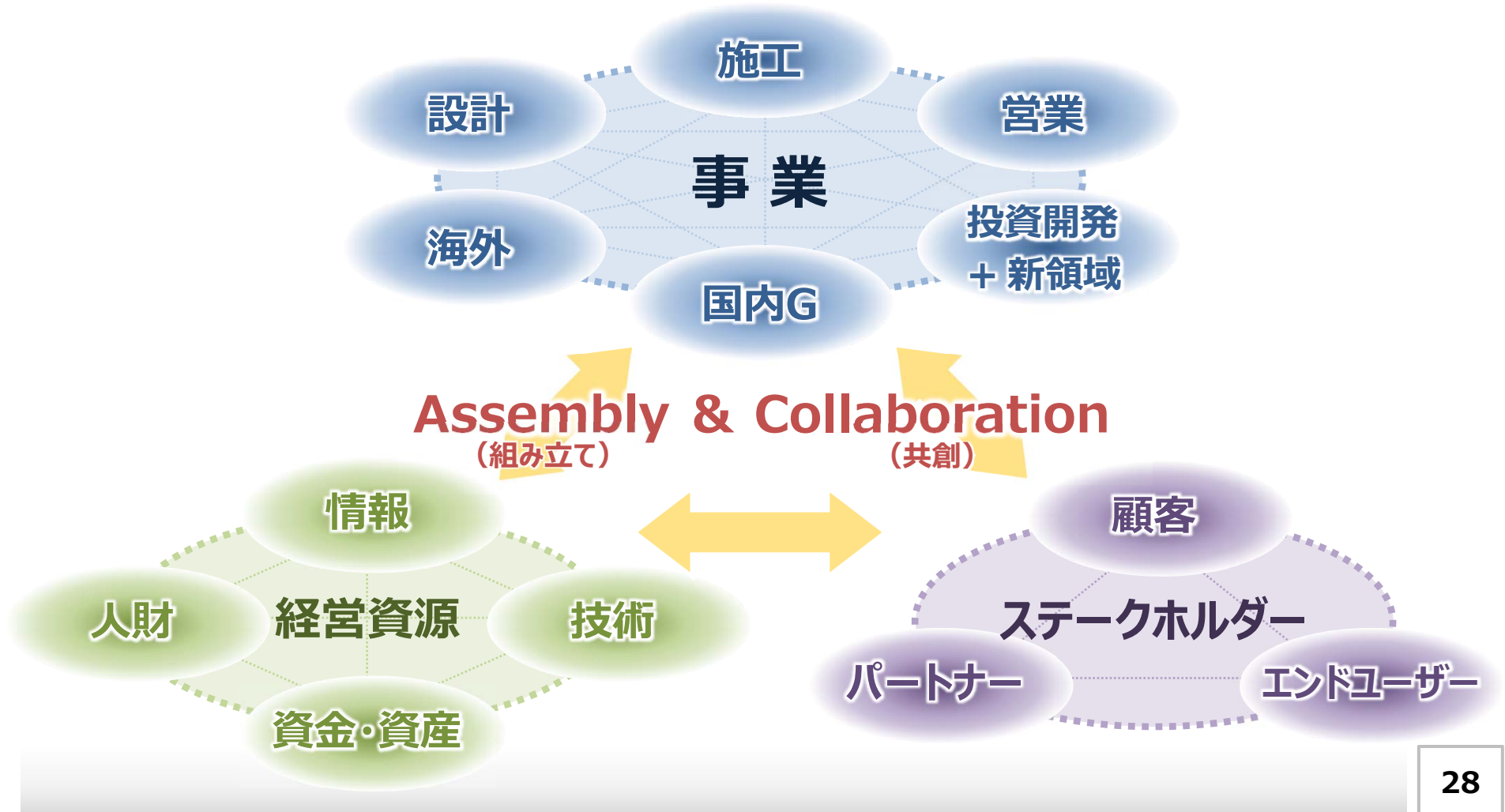
高付加価値オフィス

山岳トンネル・大型インフラ

区画開発

新たな価値創造に向けて

差別化価値の創出に向けた連携を強化



投資計画の進捗

投資計画



計画累計 (2017~2019年度)

[内訳]	[17年度]	[計画累計]
投資開発 (不動産等)	130	420
新領域 (エネルギー等)	55	240
技術・ICT	30	60

共同所有会社のM&Aによる 単独所有化 (2017/10投資済み)



八丁堀センタービル (東京都中央区)

- ・ 設計・施工 : 当社
- ・ 構造・規模 : SRC 10/2
延床面積 18,018㎡
- ・ 竣工年月 : 1992年5月

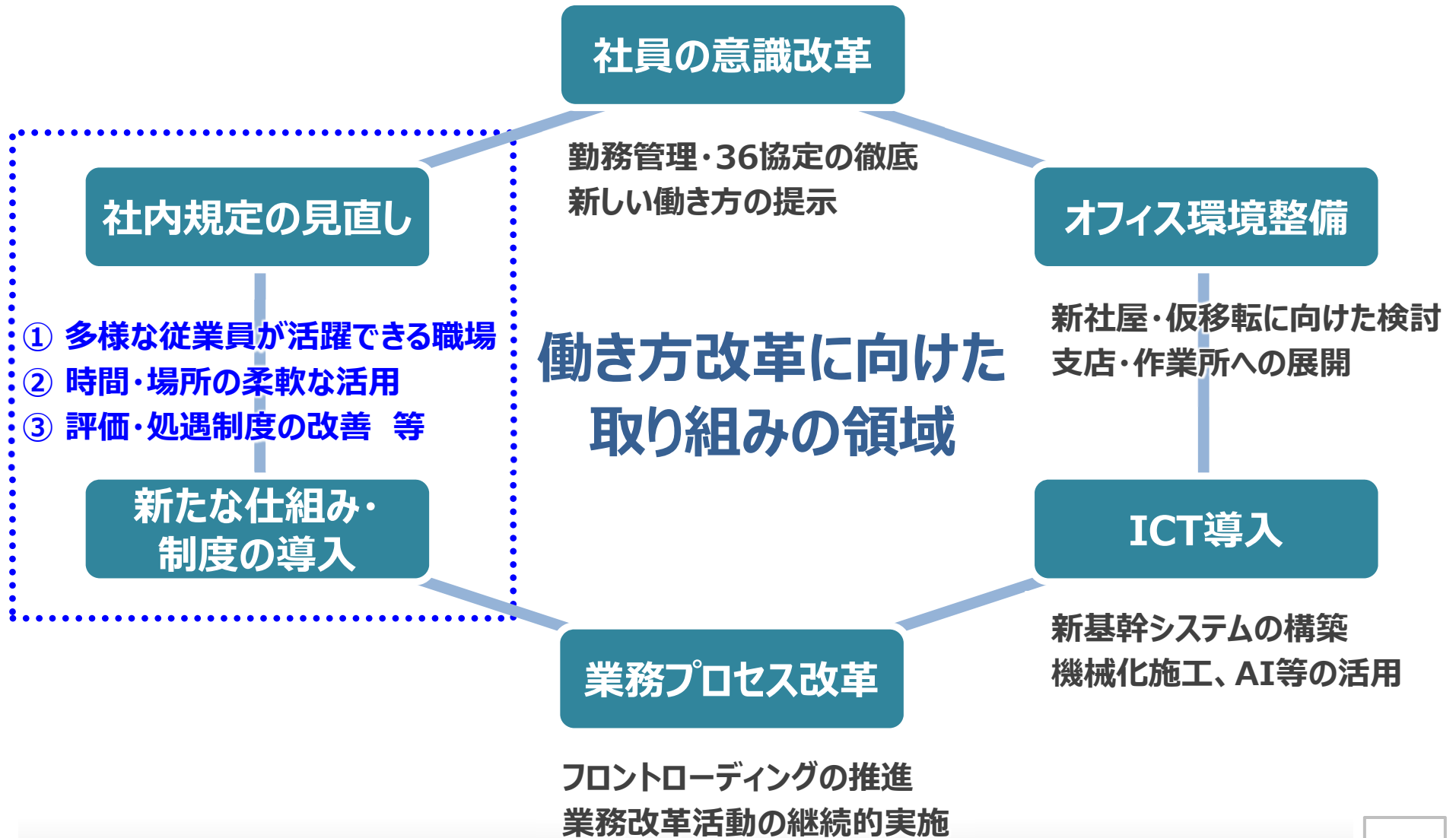
新たな資金調達の実施

グリーンボンドの発行を準備中 (事業投資向けの資金調達としては国内初の事例)

発行時期	2017年12月頃
年限	5年
発行額	100億円
資金使途	浮体式洋上風力発電プロジェクト建設のための設備投資資金
グリーンボンドとしての適格性	国際資本市場協会（ICMA）により策定のグリーンボンド原則に沿った社債 ESG評価会社Sustainalytics [※] より適格性についてのセカンド・オピニオンを取得済み

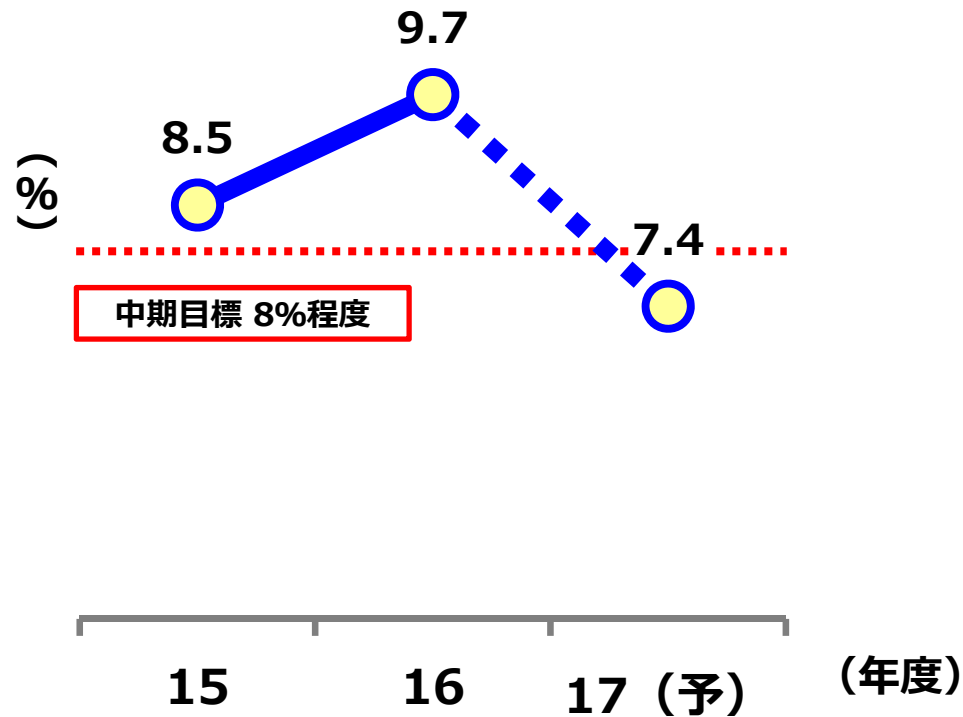
※ 今回発行予定のグリーンボンドの適格性についてのセカンド・オピニオン取得先のSustainalyticsは、ESG評価会社として、グローバルでESG・コーポレートガバナンス・リサーチ、格付、及び分析サービスを提供しており、グリーンボンドに関する調査分野での実績のある会社です。Global Capital社による2017年のSustainable and Responsible Capital Markets Awardにて最も優れたセカンド・オピニオンサービス企業（Most Impressive Second Opinion Provider）に選ばれています

働き方改革の取り組み

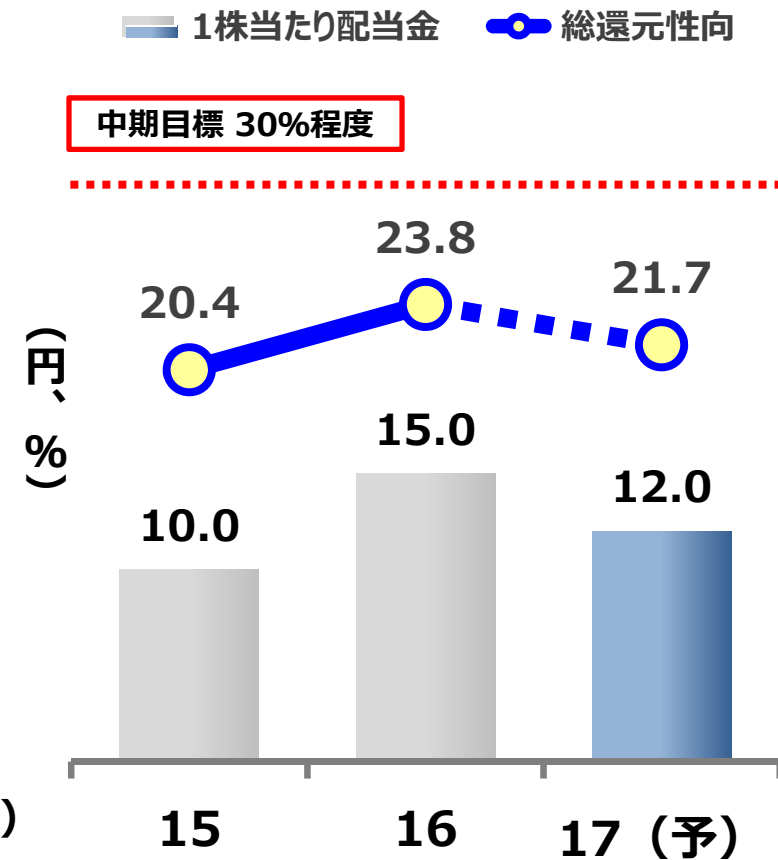


資本効率・株主還元

ROE（自己資本利益率）



1株当たり配当金・総還元性向



※ 2015・16年度のROE及び総還元性向は、税金等調整前当期純利益に法定実効税率を乗じて試算した数値。
※ 2017年度の総還元性向は、自社株式取得を考慮していない数値。

“喜び”を実現する企業グループ

